

# 竹富島における石碑・記念碑等の調査報告

岸本 弘人・崎原 恭子・早瀬 千明・島仲 彌喜

The investigation report of the monument in Taketomijima Island

Hiroto KISHIMOTO, Kyoko SAKIHARA, Chiaki HAYASE and Yoshinobu SHIMANAKA

竹富島総合調査報告書、沖縄県立博物館・美術館 別刷

2012年3月30日

Reprinted from Survey Reports on Natural History, History and Culture of  
Taketomijima Island, Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

March, 2012

## 竹富島における石碑・記念碑等の調査報告

岸本 弘人・崎原 恭子・早瀬 千明・島仲 彌喜

The investigation report of the monument in Taketomijima Island

Hiroto KISHIMOTO\*, Kyoko SAKIHARA\*, Chiaki HAYASE\* and Yoshinobu SHIMANAKA\*\*

### はじめに

本稿は、沖縄県立博物館・美術館（博物館班）による総合調査事業に基づいて2009（平成21）年度から2011（平成23）年度の3年間にわたり実施した「竹富島総合調査」の歴史分野の調査報告である。

竹富島は世界遺産にも登録されている園比屋武御嶽石門の築造や首里城城壁の設計にあたった西塘（生没年未詳）が生れた島である。西塘はその功により八重山を統治する竹富大首里大屋子職に任じられ、島の西岸、浦皆治原に政庁の蔵元を設置した。土地が狭隘なため蔵元は後に石垣島に移されたが、蔵元跡は史跡として現存し、西塘の名と共に島の人々の誇りとなっている。

竹富島は離島の中の離島で、いわゆる「島ちゃび」を味わっているが、郷土に対する人々の愛着は強い。陰暦の9、10月中に廻り来る甲申（きのえさる）の日から甲午（きのえうま）の日までの10日間にわたって毎年実施される「種子取祭」は、1977（昭和52）年に国の重要無形民俗文化財「竹富島の種子取<sup>たんどり</sup>」に指定され、島外に住む島出身者の帰省にとどまらず、多くの観光客が訪れ盛大に行われる。また、沖縄らしい美しい景観が広がる島の集落域全体は1986（昭和61）年に竹富町歴史的景観形成地区保存条例（昭和61年条例第12号）第5条の規定に基づき、竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区に指定され、さらに

翌1987（昭和62）年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。島の人々は白砂が敷きつめられた自宅前の道を毎朝帚で掃き清め伝統的な景観を守っている。

### 調査の目的

本調査は竹富島に現存する全ての石碑・記念碑等の現況を把握することを目的とした。なお、御嶽の鳥居や灯籠についても石碑・記念碑ではないが、奉納年や奉納者が刻まれているものが存在することから、今後の参考のために調査対象とした。竹富町教育委員会に確認したところこのような悉皆調査はこれまでにないとのことである。調査項目は時間的制約等もあって設置場所の把握、法量測定、碑文の確認および書き起こし等に限った。材質については詳細な分析に基づくものではなく、あくまでも調査員が参考程度に判断したものなので、今後あらためて検討する必要がある。固体確認については万全を期したつもりであるが、万が一調査洩れがある場合の責任は一切当博物館にある。なお、文献調査や聞き取りによる建立の歴史的経緯等については機会を改めることとしたい。

本調査においては、次の方々（五十音順）にお世話になった。記して感謝申し上げます。

遺産管理型特定非営利活動法人 たきどうん職員

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 沖縄県立博物館・美術館

\* Okinawa Prefectural Museum and Art Museum, 3-1-1, Omoromachi, Naha, Okinawa, 900-0006, Japan

〒907-1101 沖縄県八重山郡竹富町竹富381-4 竹富町織物事業協同組合

\*\* Taketomi-cho textile manufacturers' cooperative, 381-4, Taketomi, Taketomi, Yaeyama, Okinawa, 907-1101, Japan

阿佐伊拓

竹富町教育委員会総務課町史編集係主事 飯田泰彦

竹富島喜宝院蒐集館長 上勢頭芳徳

竹富島喜宝院 上勢頭同子

## 調査の方法

調査は現地踏査により、1件ずつ調査シートに記入していく方法をとった。博物館調査員が竹富島内石碑情報集成としてまとめ、銘文については島仲彌喜が現地にて確認を行った。調査日及び調査員は以下の通りである。

|                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 2009 (平成21) 年10月12日～15日 | 岸本弘人         |
| 2010 (平成22) 年3月18日～19日  | 崎原恭子         |
| 2010 (平成22) 年4月21日～23日  | 崎原恭子<br>岸本弘人 |
| 2011 (平成23) 年11月16日～18日 | 岸本弘人<br>早瀬千明 |
| 2011 (平成23) 年12月24日     | 岸本弘人         |

## 石碑・記念碑等の分布状況

石碑・記念碑等(御嶽、灯籠を除く)の分布状況を見ると、図1～3から分かるように明らかな偏りが見られる。集落外には花城井戸(ハナツクンガー)、西棧橋、潮がれ浜、蔵元発祥之地、仲盛清翁顕彰碑、健康モデル地区標示塔の7件のみで、ほとんどが重要伝統的建造物群保存地区に選定されている集落内に存在している。

竹富島には三つの集落(玻座間東、玻座間西、仲筋)があるが、記念碑は東と西の両集落に集中し、仲筋集落には3件が存在するだけである。しかも、東集落では西塘御嶽の周辺に、西集落では世持御嶽と赤山丘(なごみの塔)の周辺に集中していることが分かる。

## 各石碑・記念碑等の記録

調査結果は1件ずつ竹富島内石碑情報集成としてまとめた。その調査結果を元に若干の考察を行ってみたい。

## 1. 建立年代について

竹富島の石碑・記念碑等(鳥居・灯籠含む)の建立年代を見ると全91件中、王府時代(～1879年)に建立されたと考えられるもの1件、明治期(1879～1911年)0件、大正期(1912～1925年)3件(3.3%)、昭和戦前期(1926～1945年)4件(4.4%)、昭和アメリカ統治期(1946～1971年)21件(23.1%)、本土復帰以降(1972年～)35件(38.5%)、不明27件(29.7%)となっており、戦後に建立されたものがほとんどを占める(小数点第2位四捨五入)。最も古いものは王府時代に建立されたと考えられる小城盛(火番盛・遠見台)の方位石で、近代以降で最も古いものは1919(大正8)年5月30日に建立された「啓蒙台」と、同年9月18日に建立された「敬老席」であった。建立年代に偏りが見られるが、八重山の他の島々との比較検討も必要であろう。明治期には明治42年10月8日に「ソプルの歌碑」が建立されたいが現在は亡失しており、喜宝院蒐集館所蔵の板札の記載によって、確認できるのみである(亡失の理由等は不明)。

## 2. 石碑・記念碑等(御嶽・灯籠を除く)の種類について

竹富島には様々な記念碑が現存しているが、調査して感じることは島の規模の割に個人を顕彰する記念碑が多いことである。しかも胸像を備えた立派なものも目立つ。その数は9件に上り、今回調査した石碑・記念碑等全91件から御嶽の鳥居(12件)と灯籠(3件)を除いた76件に対する割合は約12%に上る。集落外に2件(潮がれ浜(石島英文氏顕彰)、仲盛清翁顕彰碑)、東集落に4件(與那国清介翁八十八歳之胸像、山城善三先生胸像、崎山毅先生顕彰碑、島守りの神西塘様の碑)、西集落に3件(大豆翁頌徳碑、竹盛佐賀翁頌徳碑、上間廣起先生胸像)が現存しているが仲筋集落には無い。

## 竹富島内石碑情報集成の記載について

- (1) 調査結果は各石碑・記念碑ごとに「竹富島内石碑情報集成」としてまとめた。項目は基本的に分類、建立年月日、建立場所、材質、法量、方角、設置者、備考、銘文とした。

- (2) 銘文は基本的に全ての文字を記載した。紙面の関係上、実際とは異なる位置で改行している場合がある。
- (3) は、摩耗や欠損等により調査員が判読できなかった文字を表す。その後の聞き取り等によって判明した場合は、 の後ろに括弧書きで表記した。
- (4) 原則として石碑・記念碑等に刻まれている文字をそのまま記した。その後の聞き取り等によって正しい文字が判明した場合は、後ろに括弧書きで表記した。

#### 引用・参考文献（順不同）

- 沖縄県教育委員会. 1985. 『金石文 歴史資料調査報告書』.
- 名護市教育委員会. 1997. 『名護市碑文記』(増補改訂版).
- 那覇市. 2004. 『那覇市世界遺産周辺整備事業 石碑復元計画調査報告書』.
- 沖縄県立博物館. 1993. 『企画展 刻まれた歴史 沖縄の石碑と拓本』.
- 上江洲敏夫. 1985. 「石碑概観 県内の石碑採拓を通して (一)」 沖縄県立博物館 『沖縄県立博物館紀要』 第11号.
- 亀井秀一. 1990. 「第九章 竹富島の名所・旧跡」 『竹富島の歴史と民俗』 角川書店.
- 山城善三・上勢頭亨. 1971. 「第七章 名所旧跡」 『竹富島誌』. 八重山郡竹富町字竹富公民館.
- 竹富町教育委員会. 2000. 『竹富島の集落と民家 竹富島伝統的建造物群保存地区保存計画見直し調査報告書』.

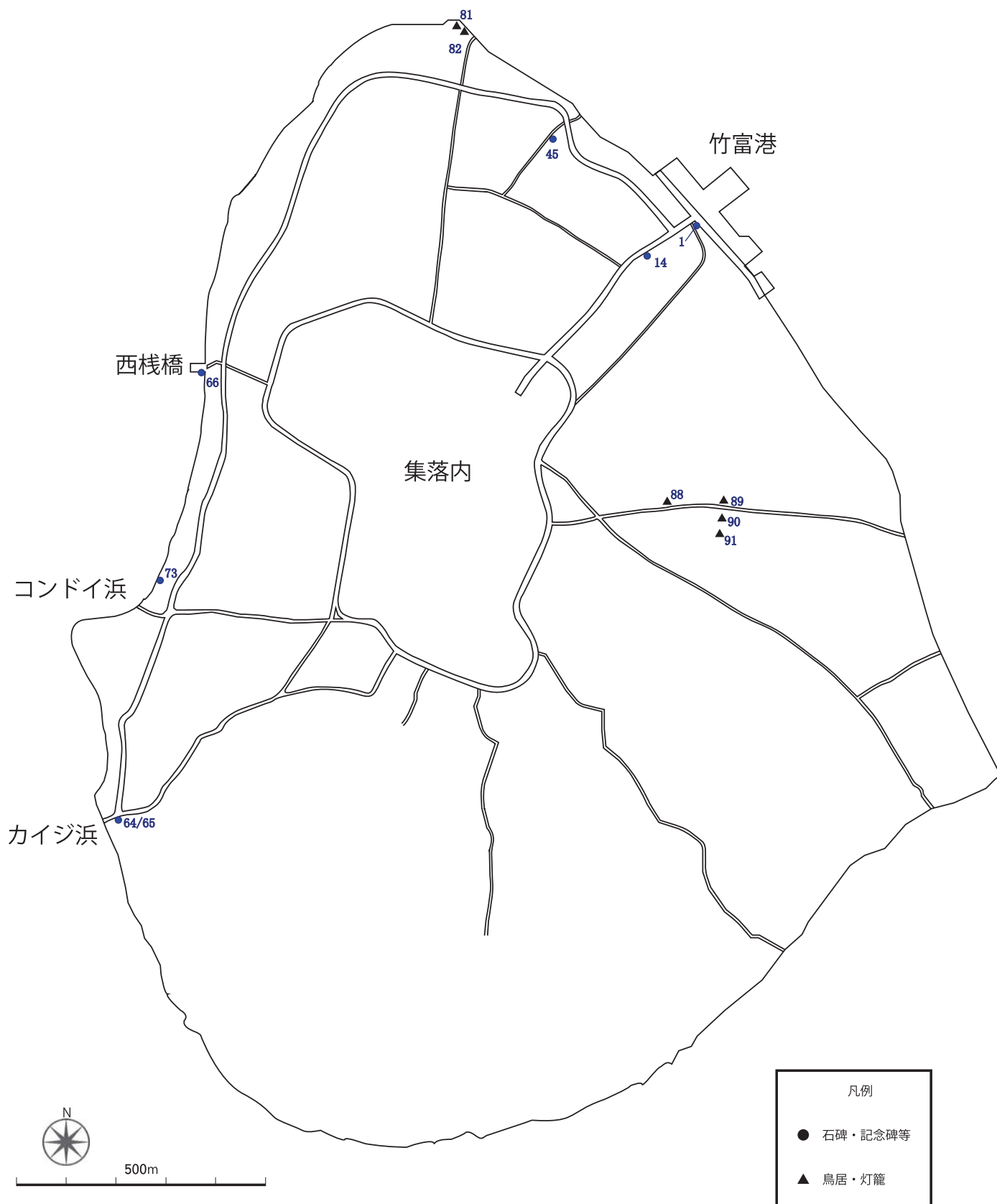


図1 竹富島の石碑・記念碑等の分布 (集落外)。

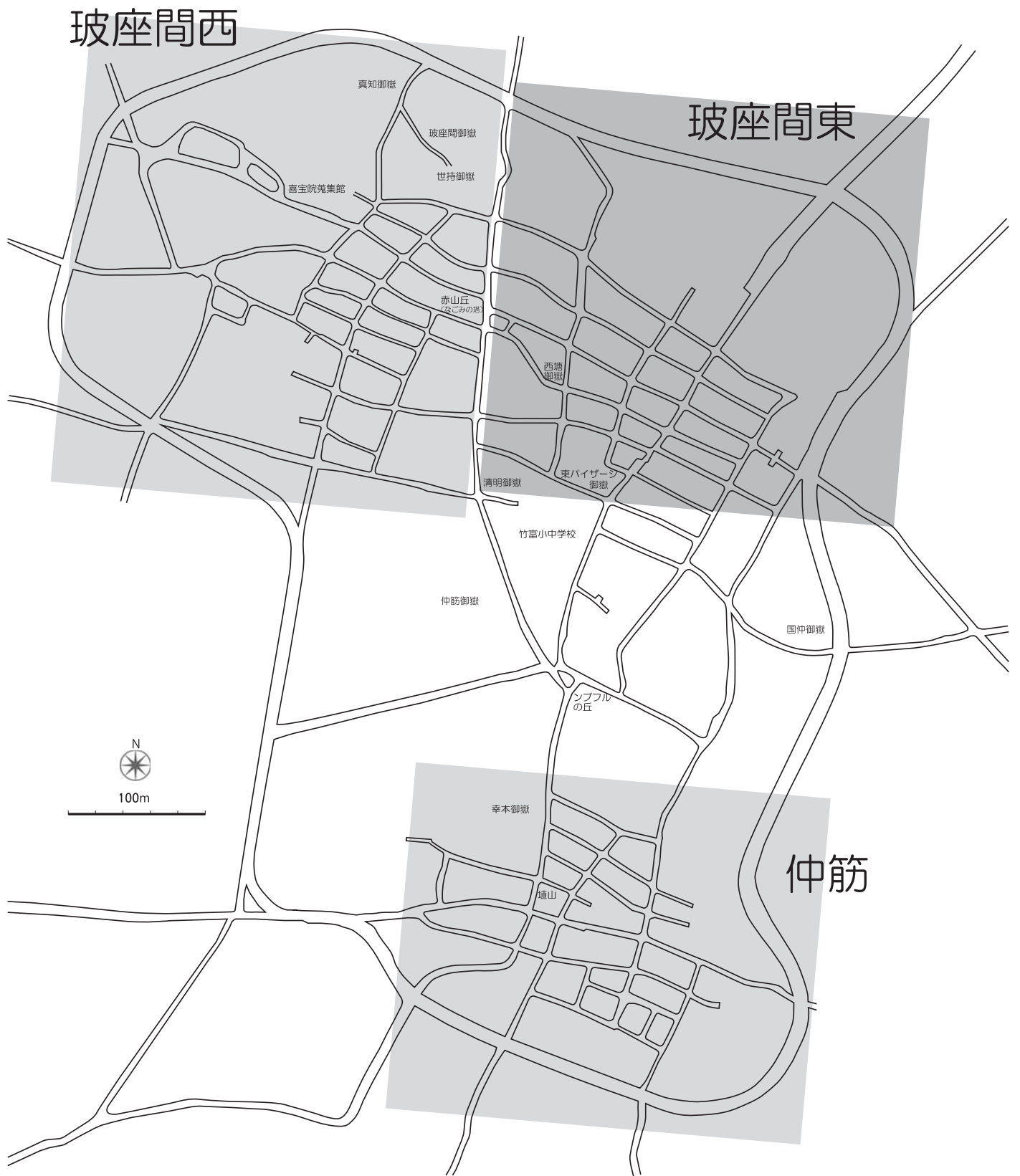


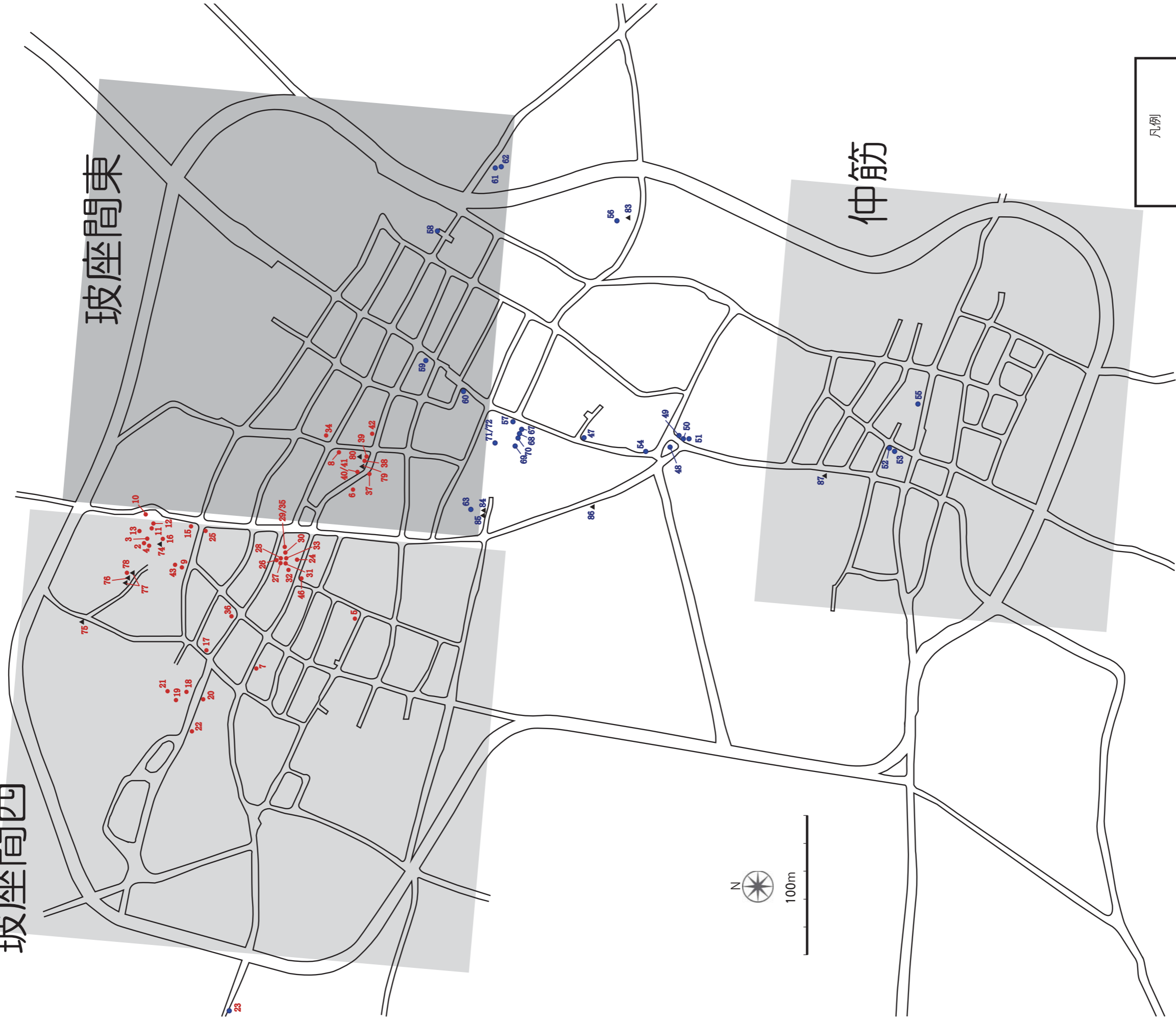
図2 竹富島集落内図。



玻座間西

玻座間東

仲筋



凡例

● 石碑・記念碑等

▲ 鳥居・灯籠

図3 竹富島の石碑・記念碑等の分布（集落内）。



| 整理番号 | 名称                       | 分類  | 建立場所                             |
|------|--------------------------|-----|----------------------------------|
| 1    | 健康モデル地区標示塔               | 記念碑 | 竹富港の舟屋の左手に建立                     |
| 2    | 大豆翁頌徳碑                   | 顕彰碑 | 慰霊之塔及び忠魂碑の側                      |
| 3    | 忠魂碑                      | 忠魂碑 | 竹富島小城盛の西側                        |
| 4    | 慰霊之塔                     | 慰霊碑 | 元村役場のあった敷地跡                      |
| 5    | 安里屋クヤマ誕生家（歌碑）            | 歌碑  | 安里家住宅                            |
| 6    | 山城善三先生胸像                 | 胸像  | 西塘御嶽西隣（与那国家屋敷内）                  |
| 7    | 竹盛佐賀翁頌徳碑                 | 頌徳碑 | いんのた会館裏側                         |
| 8    | 崎山毅先生顕彰碑                 | 顕彰碑 | あいのた会館近く、西塘御嶽の裏側                 |
| 9    | 上間廣起先生胸像                 | 顕彰碑 | 世持御嶽西側                           |
| 10   | 小城盛（火番所）の方位石             |     | 小城盛                              |
| 11   | 記念物・小城盛（火番盛）の標柱（文化財指定）   | 標柱  | 小城盛                              |
| 12   | 小城盛（火番盛）の説明版             | 説明版 | 小城盛                              |
| 13   | 小城盛（火番盛）の復元記念碑           | 記念碑 | 小城盛                              |
| 14   | 仲盛清翁顕彰碑                  | 顕彰碑 | 港から東集落の間の墓地                      |
| 15   | 世持御嶽拡張顕彰碑                | 顕彰碑 | 世持御嶽                             |
| 16   | 重要無形民俗文化財指定証書（竹富島の種子取）の碑 | 記念碑 | 世持御嶽                             |
| 17   | こぼし文庫贈呈記念碑／シーサー          | 記念碑 | こぼし文庫（世持御嶽近く）                    |
| 18   | 感謝の碑（喜宝院蒐集館）             | 記念碑 | 喜宝院蒐集館                           |
| 19   | 新税法実施記念碑（亡失）             | 記念碑 | ンブフルに設置されていたが、記録は「為念」（喜宝院蒐集館）にあり |
| 20   | 竹富の歌碑（うつぐみ）              | 歌碑  | 喜宝院蒐集館向かい                        |
| 21   | 慰霊之塔（喜宝院裏側）              | 慰霊碑 | 喜宝院蒐集館裏側                         |
| 22   | 自然と人間                    | 記念碑 | 食事処やらぼの道向い                       |
| 23   | 土地顕彰之碑／入里俊勝              | 顕彰碑 | 西棧橋へ向かう途中の墓地手前                   |
| 24   | 新おきなわの観光名所「竹富島の町並み」      | 標柱  | なごみの塔敷地内                         |
| 25   | たけとみ民芸館標石                | 標柱  | 世持御嶽の向い                          |
| 26   | 登録有形文化財「なごみの塔」プレート       | 登録版 | なごみの塔下                           |
| 27   | なごみの塔                    | 塔   | なごみの塔                            |
| 28   | 亀の甲台                     |     | なごみの塔下                           |
| 29   | 石馬ノ由来                    |     | なごみの塔敷地内                         |
| 30   | 篤志顕彰之碑                   | 顕彰碑 | なごみの塔敷地内                         |
| 31   | 赤山丘の設置に至るまで              | 説明版 | なごみの塔敷地内                         |
| 32   | 星見石由来                    |     | なごみの塔敷地内                         |
| 33   | あか山丘の碑                   | 記念碑 | なごみの塔敷地内                         |
| 34   | あいのた会館竣工碑                | 記念碑 | あいのた会館入口                         |
| 35   | 鼓石（太鼓石）                  |     | なごみの塔敷地内、石馬ノ由来の側                 |
| 36   | 自然と人間（泉屋）                |     | 民宿「泉屋」の入口側                       |
| 37   | 竹富町民憲章                   |     | 西塘御嶽近くの竹富町竹富島まちなみ館の石垣に設置         |
| 38   | 島守りの神西塘様の碑               | 記念碑 | 西塘御嶽の右側                          |
| 39   | 史跡標柱「西塘御嶽」               | 標柱  | 西塘御嶽入口                           |
| 40   | 「西塘御嶽 平和の鐘」プレート          | 登録版 | 西塘御嶽からなごみの塔向けに歩いた右側にあり           |
| 41   | 「平和の鐘」銘文                 | 梵鐘  | 西塘御嶽からなごみの塔向けに歩いた右側にあり           |
| 42   | 凱旋記念                     | 記念碑 | 西塘御嶽近くの井戸の手前                     |
| 43   | 顕彰之碑                     | 顕彰碑 | 世持御嶽敷地内のお手洗い横                    |
| 44   | 顕彰之碑／上勢頭亨生誕百年記念碑         | 顕彰碑 | 喜宝院蒐集館の前                         |
| 45   | ハナクンガー                   | 標柱  | 新里村遺跡内                           |
| 46   | 紀元2600年記念                | 記念碑 | なごみの塔に面したイナフクの角塀に埋め込まれたプレート      |

| 整理番号 | 名称                       | 分類  | 建立場所         |
|------|--------------------------|-----|--------------|
| 47   | 酒造所跡                     | 記念碑 | 竹富小中学校体育館東   |
| 48   | 水道記念碑                    | 記念碑 | 仲筋井戸南        |
| 49   | 人頭税廃止百年記念之碑              | 記念碑 | 仲筋井戸南        |
| 50   | かいしくさ うつぐみど まさりよる        | 歌碑  | 仲筋井戸南        |
| 51   | うんむいの碑                   | 記念碑 | ンブフル丘        |
| 52   | 仲筋村伝統芸能継承之碑              | 記念碑 | 八ニヤ丘         |
| 53   | 八ニヤの由来                   | 記念碑 | 八ニヤ丘         |
| 54   | ナージカー                    | 標柱  | 仲筋井戸西        |
| 55   | 八重山島造船創業始祖之碑             | 記念碑 | 仲筋集落の島仲家の庭   |
| 56   | 国仲御嶽の記念物標柱               | 標柱  | 国仲御嶽         |
| 57   | 竹富小中学校位置標柱               | 標柱  | 竹富小中学校内管理棟東側 |
| 58   | 與那国清介翁八十八歳之胸像            | 胸像  | 竹富郵便局東70m    |
| 59   | 放送台                      |     | 竹富郵便局南40m    |
| 60   | 啓蒙台                      | 記念碑 | 竹富郵便局南80m    |
| 61   | ミーナ井戸の記念物標柱              | 標柱  | 竹富郵便局東120m   |
| 62   | ミーナ井戸                    |     | 竹富郵便局東120m   |
| 63   | 敬老席                      |     | 清明御嶽敷地内      |
| 64   | 蔵元跡の史跡標柱                 | 標柱  | 蔵元跡側         |
| 65   | 蔵元発祥之地                   |     | 蔵元跡          |
| 66   | 西棧橋                      | 記念碑 | 西棧橋          |
| 67   | 竹富小学校創立90周年記念            | 記念碑 | 竹富小中学校内      |
| 68   | 竹富小学校創立100周年記念           | 記念碑 | 竹富小中学校内      |
| 69   | うつぐみの像                   | 記念碑 | 竹富小中学校内      |
| 70   | ソニー子ども科学教育プログラム11年連続入賞記念 | 記念碑 | 竹富小中学校内      |
| 71   | 二宮金次郎像                   |     | 竹富小中学校内      |
| 72   | 二宮金次郎像標柱                 | 標柱  | 竹富小中学校内      |
| 73   | 詩歌「潮がれ浜」                 | 歌碑  | コンドイ浜北側      |
| 74   | 世持御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 世持御嶽         |
| 75   | 真知御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 真知御嶽入口       |
| 76   | 玻座間御嶽の鳥居                 | 鳥居  | 玻座間御嶽入口      |
| 77   | 玻座間御嶽の燈籠（一対）             | 灯籠  | 玻座間御嶽入口      |
| 78   | 玻座間御嶽の手洗台                | 手水  | 玻座間御嶽鳥居後ろ    |
| 79   | 西塘御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 西塘御嶽入口       |
| 80   | 西塘御嶽内の燈籠「奉納」（一対）         | 灯籠  | 西塘御嶽内        |
| 81   | 親泊御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 島の北側ミシャシ海岸沿い |
| 82   | 美崎御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 島の北側ミシャシ海岸沿い |
| 83   | 国仲御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 国仲御嶽         |
| 84   | 清明御嶽の灯籠                  | 灯籠  | 清明御嶽         |
| 85   | 清明御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 清明御嶽         |
| 86   | 仲筋御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 仲筋御嶽         |
| 87   | 幸本御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 幸本御嶽         |
| 88   | 久間原御嶽の鳥居                 | 鳥居  | 久間原御嶽        |
| 89   | 花城御嶽の鳥居                  | 鳥居  | 花城御嶽         |
| 90   | 波利若御嶽の鳥居（新）              | 鳥居  | 波利若御嶽        |
| 91   | 波利若御嶽の鳥居（古）              | 鳥居  | 波利若御嶽        |

## 竹富島内石碑情報集成

番号：1  
名称：健康モデル地区標示塔



分類：記念碑  
建立年月日：昭和46年2月9日  
建立場所：竹富港の舟屋の左手に建立  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：(石碑)  
(台座)  
方角：  
設置者：沖縄衛生大会  
備考：  
銘文：竹富町字竹富  
健康モデル指定地区  
1970年3月

番号：2  
名称：大豆翁頌徳碑



(表)



(裏)

分類：顕彰碑  
建立年月日：昭和26年6月28日  
建立場所：慰霊之塔及び忠魂碑の側  
材質：火成岩？  
法量：(石碑)高さ116cm 厚み18cm  
(台座)高さ45cm 幅90cm 奥行き85cm  
方角：南南西  
設置者：竹富部落会  
備考：  
銘文：(正面)頌徳碑  
(正面から左側)一九五一年六月二十八日 建立 竹富部落会  
(背面)前我名釜多翁の頌徳  
一、文保十四年五月、本盛家に生れ幼少の頃から研究心に富んでいた  
一、明治四十三年、小浜島から大豆の種子を取入大寒の季節に試作をはじめた  
一、大正元年、小浜島から耕土を運んで大豆栽培の研究を重ねた  
一、大正三年、播種期栽培法についての継続研究を完成し、冬至の季節を適期として発表するとともに種子を配り、大豆作の普及奨励をした昭和八年三月十五日、翁は大豆栽培に大きな功績を残して享年九十一才で逝去された

番号：3  
名称：忠魂碑



分類：忠魂碑  
建立年月日：大正12年3月  
建立場所：竹富島小城盛の西側  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：(石碑)高さ250cm  
(碑面)縦31cm 横40cm  
(台座)  
上段：高さ78cm 幅93cm 奥行き83cm  
下段：高さ62cm 幅182cm 奥行き171cm  
方角：南西  
設置者：竹富村軍人優待会  
備考：御霊は八重盛の塔に数年前に移した。  
銘文：(正面)忠魂碑  
(左側面)工匠 福岡留吉  
(裏面)大正庚申三月建設  
竹富村軍人優待会

竹富島内石碑情報集成

番号：4  
名称：慰霊之塔



分類：慰霊碑  
 建立年月日：昭和41年11月23日  
 建立場所：元村役場のあった敷地跡  
 材質：セメント  
 戦没者名は御影石  
 法量：(石碑) 高さ257cm 幅380cm  
 (左右歌碑面) 縦106cm 横121cm  
 (中央台座) 高さ48cm 幅70cm  
 (左袖) 高さ145cm 幅163cm  
 (右袖) 高さ145cm 幅159cm  
 方角：東南  
 設置者：竹富町  
 備考：建て直しの予定がある。  
 銘文：(正面中央) 竹富町出身 戦没者  
 慰霊之塔  
 (正面左側) こゝはもや  
 汝が古里ぞ  
 帰りきし  
 みたま安かれ  
 この島とゝもに  
 (正面右側) 竹富町出身戦没者  
 人名略  
 (背面) 一九六六年十一月二十二日  
 建立期成会長 白保生雄  
 工事施工者 大山貞雄  
 詠歌 富村致佑  
 遺族会長 高嶺 寛



(左袖)



(右袖)

番号：5  
名称：安里屋クヤマ誕生家（歌碑）



分類：歌碑  
 建立年月日：不明  
 建立場所：安里家住宅  
 材質：石灰岩の石積みの中にセメント  
 法量：(歌碑) 縦72cm 横30cm  
 (全体) 高さ130cm 幅54cm 奥行き25.5cm  
 方角：南南西  
 設置者：上勢頭亨  
 備考：ユンタ＝労働歌。  
 三線を弾きながら歌う。  
 銘文：(正面) あ里屋ぬクヤマによ  
 目差主ぬくゆたらよう



竹富島内石碑情報集成

番号：6  
名称：山城善三先生胸像



(正面中央)



(正面左側)



(正面右側)

分類：胸像

建立年月日：昭和49年3月

建立場所：西塘御嶽西隣（与那国家屋敷内）

材質：石灰岩をセメントで固着

胸像と文字盤は銅製

法量：(石碑)

胸像(縦67cm 横55cm)

「山城善三先生」(縦12cm 横54cm)

「歌碑」(縦35cm 横29cm)

「山城善三先生の全偉業を称える」(縦48cm 横48cm)

「建立記録」(縦52cm 横8cm)

「顕彰会期成会会員記録」(縦40cm 横35cm)

(台座)高さ245cm 幅(上部175cm 下部370cm)

方角：南東

設置者：山城善三先生顕彰会

備考：銅製プレート5枚

銘文：(正面中央) 山城善三先生

(正面左側) 山城善三先生の 御偉業を称える

や、八重山の初代頭職西塘生誕の地藏元創設の竹富島生まれ資性温厚人格円満頭脳明晰の師範卒業当年七十七

ま、真面目と優秀を買われ母校付属訓導より累進小学校長県視学等を歴任し教育界に献身特に郷土研究も精進

し、終戦で帰郷区長から八重山民政府土木産業部長に抜擢また公選初代竹富町長に当選離島の福祉繁栄に努力

ろ、論より証拠の実践家で沖縄遺族連合会沖縄公連沖縄観光協会を設立し専務理事や幹事等の要職で永年尽瘁

ぜん、全琉の観光事業発展の功績で運輸大臣賞日本観光協会長賞を受賞観光案内手引には英和文その他多種発行

ぞ、造詣の深さから文化財保護委員長県史編纂審議会副委員長博物館運営公園審議の役職担い著書十指に及ぶ

う、受けられた勲五等双光旭日章の光栄と偉業顕彰に胸像建立伝記御出版は久子夫人の内助の功と郷土の誇り

(胸像背面) 忠恵作

(背面右)

昭和四十九年三月建立 山城善三先生顕彰会

(旧姓 与那国)

(背面左)

山城善三先生顕彰期成会

会長 名嘉山助生 副会長 真栄里文雄

幹事長 新本 実

東京地区幹事長 与那国真智

沖縄地区幹事長 大山 茂

石垣地区幹事長 瀬戸 淳

竹富地区幹事長 狩俣正三郎

外幹事 数十名 胸像制作者 山口守夫

揮毫・詩贈呈者 石堂博一

山城善三先生顕彰会

(正面右側)

島人よ 西塘精神 うけつぎて とわに栄えよ われ祈るなり

山城

## 竹富島内石碑情報集成

番号：7  
名称：竹盛佐賀翁頌徳碑



分類：頌徳碑  
建立年月日：昭和52年11月  
建立場所：いんのた会館裏側  
材質：全体は石灰岩をセメントでコーティング  
文字板は御影石  
法量：(石碑) 縦155cm 横108.7cm 奥行き約58cm  
(台座) 高さ95cm 幅267cm 奥行き204cm  
方角：北(北北北東)  
設置者：竹富部落会  
銘文：(正面)  
頌徳碑  
竹盛佐賀翁は明治十一年(一八七八)十月  
四日竹富島に生れ昭和三六年(一九六一)十月  
三日歿するまで島の各役職を勤め特に土木建築・農畜  
産業の発展に貢献した外・民間医療家として島民の保  
健衛生に尽した功績は顕著であります・依ってその功  
績を永遠に記念するため之を建立する  
昭和五二年十一月 竹富部落会

番号：8  
名称：崎山毅先生顕彰碑



(碑面)

分類：顕彰碑  
建立年月日：昭和57年4月  
建立場所：あいのた会館近く、西塘御嶽の裏側  
材質：セメント  
銘板は御影石 台座にレンガ・石灰岩あり  
法量：(石碑) 縦135cm 横245cm 奥行き30cm  
(銘版) (表) 縦75cm 横135cm (裏) 縦30cm 横20cm  
(全体) 高さ255cm 幅510cm 奥行き185cm  
方角：東(東東東南)  
設置者：顕彰碑建立期成会  
銘文：(正面) 心から  
竹富を愛し  
竹富に尽くされた  
崎山毅先生を  
仰ぎたたえて  
この碑を建つ  
(背面) 崎山毅先生略歴  
一九 年 竹富にて出生  
一九四五年 医学博士の学位を取得  
一九四六年 竹富診療所長  
一九四七年 竹富実業高等学校長  
一九五 年 八重山群島政府厚生部長  
一九六九年 没  
一九七二年 遺書「蠅螂の斧」出版  
一九八二年四月 顕彰碑建立期成会

## 竹富島内石碑情報集成

番号：9

名称：上間廣起先生胸像



(胸像)



(碑面)



(胸像裏)

分類：顕彰碑／胸像

建立年月日：昭和62年7月26日

建立場所：世持御嶽西側

材質：銅製、台座はセメント

法量：(胸像) 高さ75cm 幅60cm 奥行32cm

(中央文字盤) 縦40cm 横12cm

(中央下) 縦40cm 横100cm

(台座) 高さ150cm 幅179cm 奥行175cm

方角：東南東

設置者：上間廣起生誕百年記念事業期成会

備考：

銘文：(正面中央) 上間廣起先生

(正面下)

上間廣起先生は、明治十九年竹富島に生まれ、八重山島高等小学校を卒えると、郷里竹富校で教鞭をとり子弟の教育に精進した。そのかたわら島の生活向上のため、旧来の風俗習慣等の改善に尽力した。

大正九年普通町村制施行による新制度の間接選挙に際し、官尊民卑思想の強い中に見事当選を果し初の民選村長となった。村長を二期勤め、勇退後も村会議員として村政に貢献した。その主な業績は竹富村内の各小学校に高等科の併設と、学校後援会の結成 青年のための補習学校を各学校に開設 敬老会の創設 稚蚕飼育場の建設 農林・水産・畜産の振興 優良村長として県の囑託を受けて本土先進県の視察 竹富同志会の設立 大舩棧橋を中心にした防潮防風林の造成 製糖工場の建設 仲筋井戸の改修 芭蕉工場の設置 忠魂碑の建立 各種団体、官庁等より数多くの感謝状、表彰をうけた。

今日の竹富町の発展の礎石は、上間廣起先生の全身から溢れる郷土愛と、卓越した先見の明によるものが大きい。ここに初代民選村長の業績を広く顕彰し後世に伝えるため、旧竹富村役場を見渡すゆかりの地に先生の胸像を建立する。

昭和六十二年七月吉日

竹富村初代民選村長

上間廣起生誕百年記念事業期成会

(胸像背面銘) 志郎作

## 竹富島内石碑情報集成

---

番号：10  
名称：小城盛（火番所）の方位石



分類：  
建立年月日：王府時代  
建立場所：小城盛  
材質：石灰岩  
法量：直径45.0cm 高さ約48.5cm  
方角：方位はほぼ正確  
設置者：不明  
備考：十二支（子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥）で方位を示す  
銘文：（上面）子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥

番号：11  
名称：記念物・小城盛（火番盛）の標柱（文化財指定）



分類：標柱  
建立年月日：昭和48年2月28日  
建立場所：小城盛  
材質：石灰岩に白ペンキ  
法量：（柱）高さ167cm 幅18cm 奥行き18cm  
方角：西（西西南）  
設置者：竹富町教育委員会  
備考：  
銘文：（正面）記念物小城盛（クスクムリ・火番盛）  
（正面から左側）指定 昭和四十七年八月三十日  
（正面から右側）竹富町教育委員会  
（背面）建設 昭和四八年二月二八日

番号：12  
名称：小城盛（火番盛）の説明版



分類：説明版  
建立年月日：昭和48年か？  
建立場所：小城盛  
材質：石灰岩に白ペンキ  
法量：（石碑）高さ117cm 幅42cm 奥行き9cm  
方角：南西  
設置者：竹富町教育委員会  
備考：  
銘文：（正面）  
小城盛（クスクムリ）  
正保元年（一六四四）尚賢王時代  
火番所として建てられた。海上の監視や出入する船の通報のため烽火を揚げた。



## 竹富島内石碑情報集成

番号：13  
名称：小城盛（火番盛）の復元記念碑



分類：説明版  
建立年月日：昭和36年6月10日  
建立場所：小城盛  
材質：石灰岩に白ペンキ  
法量：(石碑) 高さ145cm 幅36cm 奥行き36cm  
(台座) 高さ44.5cm 幅107.5cm 奥行き102.5cm  
方角：南南東  
設置者：大山昭雄・正夫 / 上勢頭亨（揮毫）  
備考：(右側面) 小城盛の由来  
銘文：(正面)  
復元記念  
父松久の遺志を継ぎ親族知友の協力をえて復古をなす  
採石は存命中に自分の手で採工せるものなり  
昭和三十六年六月十日建立  
大山昭雄 / 茂 / 正夫  
(正面から左側)  
小城盛の由来  
正保元年一六四四年尚賢王の世代琉球本土の冠船の航海路にある諸島に命じて烽火台として設けられた火番盛である  
碑文並びに揮毫 上勢頭亨

番号：14  
名称：仲盛清翁顕彰碑



分類：顕彰碑  
建立年月日：昭和47年11月5日  
建立場所：港から東集落の間の墓地  
材質：石灰岩、碑文は御影石をはめ込み  
法量：(石碑) 高さ140cm 幅150cm 奥行き80cm  
(上部碑面) 縦77cm 横20cm  
(下分碑文面) 縦31cm 横63cm  
(台座) 高さ65cm 幅280cm 奥行き195cm  
設置者：竹富東支会  
備考：墓地に土地を寄付したので記念碑を設置した。  
銘文：(碑文) 碑文  
仲盛清翁は竹富島の神司仲盛家に生を承けて育ち島守りの神である六山、八山の御嶽を信仰するは勿論敬神宗祖の念厚く又愛島心に富み歳八十を過ぐるも斯道に尽された功績は数限りなく続いた時正に大東亜戦争の勃発と終戦を迎えるに伴い時代の流れは人口の過疎化が進み竹富島の畑地は荒廃し各地に散在する祖先墓は、ギンネム林に被れ墓参困難となりつ々あることに痛く心を悩まされ自己の所有地である田真原の原野地番二三一五、面積二反六畝二歩を墓地として東支会に寄贈され墓地の集結を図られた斯の如き遺徳は後輩をして祖先宗拝の念を深からしめ、こよなく島を愛せしむるものであり教育に及ぼす影響誠に大なるものがあります、仍ってこゝに翁の遺徳を永く後世に伝えるため顕彰の碑を建立する所以であります。  
明治二十一年十一月五日生  
昭和四十七年十一月五日  
板石寄贈 西盛洋光  
碑文起草と揮毫 西盛佳美  
碑建立者 竹富東支会

竹富島内石碑情報集成

番号：15  
 名称：世持御嶽拡張顕彰碑



分類：顕彰碑  
 建立年月日：昭和43年11月16日  
 建立場所：世持御嶽  
 材質：火成岩に名盤は御影石を嵌め込み  
 法量：(石碑) 高さ230cm 幅90cm 奥行き50cm  
 (台座) 高さ37cm 幅197cm 奥行き235cm  
 方角：南西  
 設置者：竹富公民館、愛郷クラブ員  
 備考：土地を寄贈したことの記念  
 銘文：(正面) 顕彰碑

(正面下)

ここ一帯は島の由緒あるところである  
 竹富公民館では伝統の種取祭行事を考慮して狭隘にある世持お嶽神域を拡張する計画を立て実現を期することにした  
 しかし用地取得整備等に多額の資金を必要としその捻出を一般に仰ぐことにしていたところで左記愛郷クラブ員一同がこの計画に全面賛同して旧竹富村役場敷地(二百二十五坪)を買収 美化整備を行い本公民館に無償提供した  
 よってこの尊い篤志を感謝してこれを顕彰する  
 昭和四十三年十一月十六日 竹富公民館

愛郷クラブ員

上間清亨 宮平良清 瀬戸 弘 崎山 毅  
 小堂達雄 宇根栄孝 有田 利 山森正治  
 新 哲次 根本精能 瀬戸 淳 大山昭雄

(背面)

謹 書 糸洲長武 施工、刻字 崎山寛治



(碑面)

## 竹富島内石碑情報集成

番号：16

名称：重要無形民俗文化財指定証書（竹富島の種子取）の碑



分類：記念碑

建立年月日：昭和52年5月19日

建立場所：世持御嶽

材質：銘板は白い御影石

台座は石灰岩をセメントで固定

法量：（銘板）縦60cm 横90cm （台座）  
（上部）高さ173cm 幅170cm 奥行き115cm  
（下部）高さ203cm 幅245cm 奥行き130cm

方角：南南西

設置者：竹富島民俗芸能保存会

銘文：（正面）第九十六号 重要無形民俗文化財指定証書

竹富島の種子取

竹富島民俗芸能保存会

文化財保護法第五十六条の十の規定により重要無形民俗文化財として昭和五十二年五月十七日文部大臣により指定されました

昭和五十二年五月十九日

文化庁長官 安嶋 彌

印（文化庁長官）

番号：17

名称：こぼし文庫贈呈記念碑



分類：記念碑

建立年月日：昭和47年

建立場所：こぼし文庫敷地内（世持御嶽近く）

材質：記念碑は火成岩、シーサーは荒焼

法量：（石碑）高さ110cm 幅82cm 奥行き49cm  
（シーサー）高さ50cm 幅23cm

（左片耳と尾が欠けている）

方角：東南

設置者：(有)沖縄国際海運社長 上勢頭保

銘文：（正面）贈呈

こぼし文庫

沖縄に照らされて

昭和四七年五月一日

岡部伊都子

（背面）(有)沖縄国際海運社長 上勢頭保

番号：18

名称：感謝の碑（喜宝院菟集館）



分類：記念碑

建立年月日：記銘なし

建立場所：喜宝院菟集館

材質：石灰岩に白御影石に文字を刻む

法量：高さ130cm 幅84cm 奥行き30cm

方角：

設置者：上勢頭亨

備考：

銘文：感謝

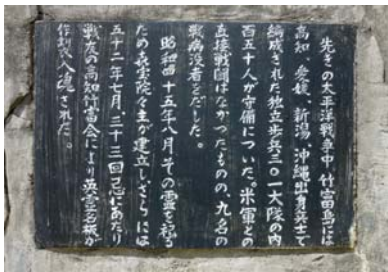
竹富島内石碑情報集成

番号：20  
 名称：竹富の歌碑（うつぐみ）



分類：歌碑  
 建立年月日：不明（昭和40年代）  
 建立場所：喜宝院蒐集館向かい  
 材質：チャートか？  
 法量：高さ174cm（上部のモニュメント47cm）  
 幅46cm 奥行き30cm  
 方角：北北東  
 設置者：記銘なし  
 備考：  
 銘文：（正面）からくさや うつぐみど まさる

番号：21  
 名称：慰霊之塔 分類：慰霊碑



（碑面）



（附属）



（附属）

建立年月日：昭和45年8月  
 建立場所：喜宝院蒐集館裏側  
 材質：セメント、石灰岩  
 法量：（慰霊之塔）高さ131cm 幅36cm 奥行き約23cm  
 （上部）幅139cm  
 （段差の差）高さ32.5cm  
 （下部）高さ100cm 幅327cm（奥行き）133cm

方角：  
 設置者：高知竹富会  
 銘文：（正面上部）大石隊 戦没者 慰霊之塔  
 （正面中央）

|      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 歩兵少尉 | 内倉松太郎 | 全上等兵 | 島袋 徳常 |
| 全上等兵 | 岡林 一隆 | 全上等兵 | 田中 万蔵 |
| 全上等兵 | 仲神 勘蔵 | 全上等兵 | 山中今朝好 |
| 全一等兵 | 新城 清次 | 全一等兵 | 嘉陽 朝亀 |
| 全一等兵 | 新城 幸平 |      |       |

三十三回忌菩提

高知竹富会  
 （正面下部）

先きの太平洋戦争中、竹富島には高知、愛媛、新潟、沖縄出身兵士で編成された独立歩兵三一大隊の内百五十人が守備についた。米軍との直接戦闘はなかったものの、九名の戦病没者をだした。

昭和四十五年八月その霊を祀るため喜宝院々主が建立し、さらには五十二年七月、三十三回忌にあたり戦友の高知竹富会により英霊名板が作製入魂された。

（付属）（正面）奉寄進  
 （正面より右側）外村吉之介  
 （付属）（付属）  
 （正面）南無阿弥陀佛

## 竹富島内石碑情報集成

番号：22  
名称：自然と人間



分類：記念碑  
建立年月日：昭和40年代  
建立場所：食事処やらぼの道向い  
材質：石灰岩にセメント  
法量：高さ約133cm 幅約40cm 奥行き約23cm  
方角：東北東  
設置者：上勢頭亨  
備考：上勢頭亨氏の直筆、復帰後にドライバーで文字を彫ったという。  
銘文：(正面)自然と人間

番号：23  
名称：土地顕彰之碑／入里俊勝



分類：顕彰碑  
建立年月日：記銘なし  
建立場所：西棧橋へ向かう途中の墓地手前  
材質：石碑：自然石、台座：組石  
法量：(石碑)高さ136cm 幅180cm 奥行き75cm  
(台座)高さ53cm 幅130cm 奥行き83cm  
方角：東  
設置者：記銘なし  
備考：珊瑚を焼いて漆喰を造る場所(漆喰場)だったところを墓地として寄付した。  
銘文：(正面)土地顕彰之碑 入里俊勝

番号：24  
名称：新おきなわの観光名所「竹富島の町並み」



分類：標柱  
建立年月日：平成7年4月15日  
建立場所：なごみの塔敷地内  
材質：文字版：花崗岩、台座：石灰岩  
法量：(石碑)縦30cm 横40cm  
(全体)高さ62cm×幅76cm×奥行き65cm  
方角：南南西  
設置者：主催：沖縄郵政管理事務所  
共催：沖縄県 沖縄ビクターズビューロー  
銘文：(正面)  
私が選ぶ新おきなわの観光名所 第4位  
竹富島の町並み  
1995年4月15日認定  
主催 沖縄郵政管理事務所  
共催 沖縄県  
沖縄ビクターズビューロー  
琉球新報社

## 竹富島内石碑情報集成

---

番号：25  
名称：たけとみ民芸館標石



分類：標柱  
建立年月日：不明（平成12年度？）  
建立場所：世持御嶽の向い  
材質：（文字版）御影石  
（本体）ニービスフニ？  
法量：（全体）高さ225cm 幅142cm  
（碑面）縦120cm 横80cm  
方角：南東  
設置者：  
備考：元は竹富診療所  
銘文：（正面）たけとみ民芸館

---

番号：26  
名称：登録有形文化財「なごみの塔」プレート



分類：登録版  
建立年月日：記銘なし（平成18年4月12日）  
建立場所：赤山丘なごみの塔下  
材質：銅  
法量：縦21.2cm×横30.0cm×厚さ0.2cm  
方角：東  
設置者：文化庁  
備考：平成18年4月12日に登録  
銘文：登録有形文化財 第47-0016号  
この建造物は貴重な国民的財産です  
文化庁

---

番号：27  
名称：なごみの塔



分類：塔  
建立年月日：昭和28年6月25日  
建立場所：赤山丘  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：高さ437cm 幅300cm 柱径50cm 物見台97cm 四方  
方角：南南西  
銘文：（正面）なごみの塔  
（背面）  
一九五三年六月二十五日建立  
石工 野底徳重  
左官 入里俊勝

竹富島内石碑情報集成

番 号：28  
名 称：亀の甲台



分 類：  
建立年月日：不明  
建立場所：赤山丘なごみの塔敷地内  
材 質：石灰岩  
法 量：高さ60cm × 幅110cm × 奥行き110cm  
方 角：東南東  
銘 文：(正面) 亀の甲台

番 号：29  
名 称：石馬ノ由来



分 類：  
建立年月日：不明  
建立場所：赤山丘なごみの塔敷地内  
材 質：石灰岩  
法 量：(文字部分) 縦35cm 横37cm  
(全体) 高さ100cm 幅290cm 奥行き85cm  
方 角：東北東(文字部分)  
銘 文：(正面左下)  
石馬ノ由来  
昔美佐志村ニ阿主ト云フ  
村ノ子供達ヲ集メテ此ノ馬ニ  
阿主曰 偉人八大馬ニ  
巡.....  
達.....  
ナレト教訓サレタト言フ  
美佐志村ニ有ツタモノヲ会  
員ノカニヨツテ一九五七年三月  
公園ニ移サレタ



(碑面)

## 竹富島内石碑情報集成

番号：30  
名称：篤志顕彰之碑



分類：顕彰碑  
建立年月日：不明  
建立場所：赤山丘なごみの塔敷地内  
材質：火成岩  
法量：(石碑) 高さ115cm 幅45cm 奥行き45cm  
(台座) 最大高60cm 最大幅124cm 奥行き98cm  
方角：東南  
銘文：(正面から左側)  
前野長用 白保英喜 本盛 松 大山真知  
根原蒲戸 野原加名 入里俊勝 野底徳重  
大盛常幸 亀井秀功 阿佐伊昇 東門用智  
辻 長栄 高 峯 寛 富本 武 國吉真津  
大山祐功

番号：31  
名称：赤山丘の設置に至るまで



分類：説明版  
建立年月日：昭和33年11月8日  
建立場所：赤山丘なごみの塔敷地内  
材質：セメント  
法量：高さ約90～100cm 幅71.5cm 奥行き10cm  
方角：東南  
設置者：竹富壮年会  
備考：  
銘文：(正面) 赤山丘の設置に至るまで  
文治二年(一一八五年)壇の浦の海戦にやぶれた平家の落武者赤山王は遠くこの地に漂着し地の利を占めるこゝを要害とした一九五三年にこの由緒ある地を一和会が買収し部落へ寄贈したので西部落会では巨費を投じこゝに塔を建て、なごみの塔と名づけ部落の集会に或はこどもの遊び場として年々施設が増設されつ、今日に至っている  
一九五八年十一月八日  
竹富壮年会



竹富島内石碑情報集成

番号：32  
名称：星見石由来



分類：  
建立年月日：不明  
建立場所：赤山丘なごみの塔敷地内  
材質：石灰岩  
法量：高さ112cm 幅80cm 奥行き45cm  
方角：(文字版) 南南西  
(穴の面) 東南東  
設置者：不明  
備考：  
銘文：星見石ノ由来  
往 草木ノ緑ノ模様  
星ノ出没ノ模様等ニ春夏秋冬  
ノ季節ヲ定メ以テ作物ヲシタト言フ



番号：33  
名称：あか山丘の碑



分類：記念碑  
建立年月日：昭和28年6月25日  
建立場所：赤山丘なごみの塔敷地内  
材質：石灰岩  
法量：(全体) 高さ168cm 幅100cm 奥行き35cm  
方角：南  
設置者：不明  
備考：  
銘文：(正面) あか山丘  
(背面)  
一九五三癸巳年六月二十五日 竣工  
一．寄附 本敷地百五拾坪一和会員  
一．工事担当 西部落会  
一．工事延人員 五百十人  
(正面から右側)  
一金三千円也 但二十日間 奉仕  
大工 入里俊勝  
一金壹千円也  
野原 亀

## 竹富島内石碑情報集成

---

番 号：34  
名 称：あいのた会館竣工碑



分 類：記念碑  
建立年月日：平成7年3月  
建立場所：あいのた会館入口  
材 質：石灰岩、プレートは御影石  
法 量：(全体) 高さ140cm 幅230cm 奥行き130cm  
(中央文字盤) 縦16cm 横65cm  
(左下文字盤) 縦9cm×横51cm  
方 角：南南西  
設置者：記銘なし  
備 考：  
銘 文：(正面) あいのた会館  
平成七年三月 竣工

番 号：35  
名 称：鼓石（太鼓石）



分 類：  
建立年月日：不明  
建立場所：赤山丘なごみの塔敷地内、  
石馬ノ由来の側  
材 質：石灰岩  
法 量：  
方 角：  
設置者：  
備 考：  
銘 文：(背面) 石太鼓

番 号：36  
名 称：自然と人間（泉屋）



分 類：  
建立年月日：不明  
建立場所：民宿「泉屋」の入口側  
材 質：石灰岩に枝珊瑚の文字を貼り付け  
法 量：高さ約123cm 幅約60cm 奥行き約28cm  
方 角：南南東  
設置者：上勢頭昇（亨氏の弟）  
備 考：泉屋（民宿）の主人が戦後に建てた。  
もともとここは集会場で何もなかったが、民宿を開く  
ようになったので設置した。  
銘 文：(正面) 自然と人間

## 竹富島内石碑情報集成

番 号：37

名 称：竹富町民憲章

分 類：

建立年月日：昭和62年度

建立場所：西塘御嶽近くの竹富町竹富島まちなみ館の石垣に設置

材 質：銅

法 量：縦100.1cm 横130.4cm 厚さ1.1cm

方 角：東北東

設置者：竹富町教育委員会？

備 考：板製の「竹富島憲章」は昭和62年に重要伝統的建造物群保存地区に指定された時に、竹富町教育委員会が設置した。

銘 文：(正面)

竹富町民憲章

日本最南端の町に住む私たち竹富町民は、町民としての誇りを持ち、力をあわせて住みよい豊かな町づくりへの願いをこめ、この憲章をさだめます。

- 一、私たちは、島の伝統文化を守り、礼儀正しく、だれにも親切にします。
- 一、私たちは、町を美しくし、社会のきまりを守り、秩序正しい生活をします。
- 一、私たちは、教養を高め、教育を重んじ、次代をになう子弟の育成につとめます。
- 一、私たちは、青少年に夢を、おとしよりに安らぎを、健康で幸せな家庭、平和で明るい社会をつくります。
- 一、私たちは、島の特性を生かした経済の開発、文化の向上につとめます。



## 竹富島内石碑情報集成

番号：38  
名称：島守りの神西塘様の碑



分類：記念碑  
建立年月日：昭和32年12月5日  
建立場所：西塘御嶽の右側  
材質：コンクリート  
法量：(全体) 高さ最大162cm 幅89cm 奥行き8430cm  
(台座) 高さ25cm 幅126cm 奥行き116cm

方角：南南西  
設置者：竹富壮年会  
備考：石碑上部に三つ巴紋(直径18.5cm)あり。  
銘文：(正面) 島守りの神西塘様

このお嶽は島の生んだ傑材西塘を祭る  
西塘は明応九年(一五〇一年)オヤケ赤蜂征討軍大里親方一行が竹富島巡視の折その群を抜く才能を認められ親方凱旋に際して中山王府に同伴されて法司官に仕へた苦節二十五年の忠勤がかわれ数々の功績が報いられて大永四年(一五二四年)西塘は八重山初代の頭職竹富大首里大屋子に任命されて錦衣帰郷し島の南西端皆治原に蔵元(行政庁)を創立して八重山政治の基礎をつくった蔵元の跡は皆治原に現在も昔の佛をとどめている国宝の指定を見た首里園比屋武お嶽の石門は西塘の手によつて築かれたものである。

(背面) 竹富壮年会建立  
一九五七年十二月五日

番号：39  
名称：史跡標柱「西塘御嶽」



分類：標柱  
建立年月日：昭和42年6月20日  
建立場所：西塘御嶽入口  
材質：コンクリート  
法量：高さ188.5cm 幅18.5cm 奥行き18.5cm  
方角：西北西

設置者：琉球政府文化財保護委員会  
銘文：(正面) 史跡 西塘御嶽  
(正面から右側) 琉球政府文化財保護委員会  
(正面から左側)  
指定 一九五九年十二月十六日  
(背面)  
建設 一九六七年六月二十日

竹富島内石碑情報集成

番号：40  
名称：「西塘御嶽 平和の鐘」プレート



分類：登録版  
建立年月日：昭和49年12月吉日  
建立場所：西塘御嶽からなごみの塔向けに歩いた右側にあり  
材質：銅  
法量：縦30.2cm 横50.2cm  
方角：南南西  
設置者：高那英信、和子  
備考：高那マツ85才生年祝記念で寄進  
銘文：(正面) 西塘御嶽 平和の鐘  
昭和49年12月吉日  
高那マツ八十五才生年祝記念  
寄進 四男 英信  
妻 和子

番号：41  
名称：「平和の鐘」銘文



分類：梵鐘  
建立年月日：昭和49年12月吉日  
建立場所：西塘御嶽からなごみの塔向けに歩いた右側にあり  
材質：銅  
法量：高さ118cm 口径61.1cm  
方角：東南東  
設置者：高那英信、和子  
備考：高那マツ85才生年祝記念で寄進  
銘文：高那マツ八十五歳生年祝記念平和の鐘  
梵鐘讃歌  
この鐘の音が西塘の森から四方に鳴りわたるときすべての争いが止み諸人の浄き平和の祈願が叶えられ心に理解と融和と安らぎが生まれますように夕げにおとづれるこの鐘の音をきくとき老たる身にも病める心にも静かなよるこびが生まれますようにこの島を往き来するすべての者が安全で健やかで楽しい日々でありますようにそしてこの世に風と光と緑と人間が久遠にあるかぎりこの島は栄え平和と愛と敬母の梵鐘讃歌が鳴りわたりますように  
合掌  
滋賀縣愛知郡湖東町  
鑄匠 黄地佐平謹鑄  
昭和四十九年十二月吉日寄進 四男 英信  
妻 和子

## 竹富島内石碑情報集成

番号：42  
名称：凱旋記念■



分類：記念碑  
建立年月日：不明  
建立場所：西塘御嶽近くの井戸の手前  
材質：火成岩  
法量：(石碑) 高さ90cm 幅50cm 奥行き23cm  
(台座) 高さ63cm 幅125cm 奥行き75cm  
方角：南南西  
設置者：不明  
備考：日露戦争の凱旋記念碑  
銘文：(正面) 凱旋 記念  
(正面から右側) 初泉 井  
(正面から左側) 外国 入 十人  
旭 千代の 添

番号：43  
名称：顕彰之碑



分類：顕彰碑  
建立年月日：平成13年11月  
建立場所：世持御嶽敷地内のお手洗い横  
材質：火成岩に御影石を嵌め込み文字を刻む  
法量：(全体) 高さ233cm 幅131cm 奥行き85cm  
(銘版) 縦160cm 横85cm  
方角：東  
設置者：竹富公民館  
備考：有田氏による土地の寄付  
銘文：(正面) 顕彰之碑  
ここ、西屋敷三九六番地、三九七番地の二筆は、有田静吉氏の御厚意により、竹富公民館に寄贈されたものである。  
今日の種子取祭の隆盛を見るとき、有田家一門の篤志を未永く顕彰するものである。  
平成十三年十一月 竹富公民館

## 竹富島内石碑情報集成

番号：44  
名称：顕彰之碑／上勢頭亨生誕百年記念碑



分類：顕彰碑

建立年月日：平成23年4月

建立場所：喜宝院蒐集館の前

材質：石灰岩に御影石のプレートはめ込み

法量：(全体) 高さ126cm 幅206cm 奥行36cm

(碑面) 縦65cm 横110cm

(台座) 縦66cm 横163cm 高さ13cm

方角：

設置者：全国竹富島文化協会

備考：豊平峰雲書

銘文：(正面) あそびに学ぶ

ムーヤマの島

語りきわめて

未来ひらきし

上勢頭亨翁

(裏面) 顕彰之碑

上勢頭亨翁(一九一〇～一九八四年)は、幼いころより文化財の収集を始め、長じては古老たちから聞き取りを行い、来島した研究者の方々に島の民俗、歴史、文化を語り、竹富島を全国に知らしめた。

その成果は、『竹富島誌』二巻に著され、蒐集館収蔵品約四千点のうち八四二点は沖縄県第一号の有形民俗文化財として国に登録された。

また、亨翁は一九三六年に仏門に入り、一九四九年浄土真宗本願寺派喜宝院を創設する一方で、芸能にも才を発揮し、狂言や踊りの演者及び師匠として坡座間村の後継者を育成した。

よって、全国竹富島文化協会は、上勢頭亨翁の功績を讃え、生誕百年を記念して、石碑(豊平峰雲書)を建立する。

二〇一一年四月吉日

## 竹富島内石碑情報集成

番号：45  
名称：ハナクンガー



分類：標柱  
建立年月日：不明  
建立場所：新里村遺跡内  
材質：石灰岩  
法量：高さ86cm 幅40cm 厚み20cm  
方角：  
設置者：記銘なし  
備考：丸い珊瑚石の中をくり抜いた香炉が設置  
銘文：(正面) はなすく井戸

番号：46  
名称：紀元2600年記念



分類：記念碑  
建立年月日：昭和15年  
建立場所：なごみの塔に面したイナフクの角堀  
に埋め込まれた掲示板  
材質：コンクリート  
法量：縦28cm 横71cm  
方角：北  
設置者：竹富青年団  
備考：  
銘文：(正面下) 紀元2600年記念 竹富青年団



番号：47  
名称：酒造所跡



分類：記念碑  
建立年月日：昭和21年6月  
建立場所：竹富小中学校体育館東  
材質：台座・本体：石灰岩 文字板：御影石  
法量：(全体) 高130cm 幅90cm 奥30cm  
(文字板部) 縦63cm 横31.3cm  
(台座下段) 高46cm 幅185cm 奥180cm  
(台座上段) 高26cm 横110cm 奥105cm  
方角：北  
設置者：不明  
備考：  
銘文：(正面)  
昭和二十一年六月  
酒造所跡 国島一二 国島ひさ



## 竹富島内石碑情報集成

番号：48  
名称：水道記念碑



分類：記念碑

建立年月日：昭和51年10月28日

建立場所：仲筋井戸南

材質：本体：コンクリート 文字板：御影石

法量：(全体) 高280cm 幅257cm 奥204cm

(文字盤) 縦35cm 横90cm

(文字盤) 縦50cm 横90cm

(文字盤) 縦45cm 横60cm

方角：北

設置者：竹富町

備考：

銘文：(正面)

<文字盤> 水道記念碑  
第五代沖縄開発庁長官  
植木光教 書

<文字盤>

竹富島は昔から水に恵まれず島の人々は専ら天水と旧式の井戸 縦堀式の井戸を頼りに生活を営んできた干魃の時には石垣島や遠くは西表島から水を運ぶという想像もつかぬ苦難と斗いながら生命をつないできたのである 竹富町では竹富島の水の解決を図るためあらゆる機会にあらゆる方面に根気強く陳情を続けた如何なることがあっても幾多の困難を克服して切実な要求である水道を実現しなければならないと考えた幸いにして石垣市の深いご理解とご厚情によって海底送水への計画が具体化し悲喜こもごもの過程の中に待望の於茂登の真水を引く恩恵に浴したことは聖代の一大快挙であり無限の感慨にひたらざるを得ない この海底送水の実現方についてご指導ご協力をいただいた政府並びに県 石垣市に対し満腔の敬意と感謝の意を表するとともにこの施設が永遠に島の発展への礎となることを祈念する

昭和五十一年十月二十八日 竹富町

(背面)

<文字盤> 水道工事の概要

- 一. 分水の地点 石垣市上水道  
新川配水本管より分水
- 一. 石垣島  
陸上送水管延長 二、五五二米
- 一. 送水ポンプ場 一式、石垣市新川舟蔵に設置
- 一. 海底送水管延長 四、二五一米
- 一. 竹富島  
陸上送水管延長 一、二 三米
- 一. 高架配水池 容量九 トン
- 一. 竹富島配水管延長 四、一九七米
- 一. 工事着工 昭和五十年十月二十日
- 一. 工事竣工 昭和五十一年十月二十八日
- 一. 総工費 四億壱千九百八拾九万円
- 一. 工事発注者 竹富町長 瀬戸 弘
- 一. 工事施工者 日本鋼管株式会社  
社長 槇田久生

## 竹富島内石碑情報集成

番号：49  
名称：人頭税廃止百年記念之碑



分類：記念碑  
建立年月日：平成15年1月1日  
建立場所：仲筋井戸南  
材質：本体：チャートか？ 文字板：御影石  
法量：高118cm 幅175cm 奥40cm  
方角：西  
設置者：八重山人頭税廃止百年記念事業期成会  
備考：

銘文：(正面)(右)

竹富島では新税法移行を記念してンブフルの岡に記念碑が建立されていた。廃止百年に当たり当時の和歌をもって碑を再建し、先人の労苦と功績を偲ぶものである。

新税法實施紀念碑

日の本を 照らす光はてんか下  
曇らぬ御代そ とう登りかり

氣留

明治癸卯一月創立

日の本を 照らす光はてんか下  
曇らぬ御代そ とう登りかり

氣留

明治癸卯一月創立

(正面)(左) 人頭税廃止百年記念之碑

近世から明治の後期に至るまで両先島(宮古・八重山)には、各個人に頭割りに課した人頭税があり、私たちの先人はその不合理で苛酷な税制のもとで苦境にあえいでいた。

宮古島における先覚者らによる人頭税廃止請願運動の盛り上がりと、沖縄県土地整理事業の完了により明治36年(1903)1月1日から新税法に移行し、人頭税は廃止となった。

それを記念して八重山では郡民あげての祝賀会が催された。

人頭税廃止百年に当たり、先人の労苦を後世に伝えると共に、その歴史的意義に鑑み、ここに記念碑を建立する。

2003年(平成15)1月1日

八重山人頭税廃止百年記念事業期成会

番号：50  
名称：かいしくさ うつぐみど まさりよる



分類：歌碑

建立年月日：昭和45年6月14日

建立場所：仲筋井戸南

材質：石灰岩？

法量：高180cm 幅55cm(最長部)

方角：西

設置者：石垣在仲筋会

備考：

銘文：(正面) かいしくさ うつぐみど まさりよる  
(背面) 昭和四十五年六月十四日

番 号：51  
名 称：うんむいの碑



(碑面)



分 類：記念碑  
建立年月日：昭和41年11月23日  
建立場所：ンブフル丘  
材 質：モニュメント部：石灰岩  
台 座：コンクリート  
法 量：(石碑) 高119cm 幅90cm (最長部)  
(台座) 高100cm 高76cm 幅134cm  
方 角：南  
設置者：石垣在仲筋会  
備 考：  
銘 文：(正面)

竹富島は、屋久島、徳の島、久米島、沖縄島から祖神たちが渡って来て建てられたと伝えられている。

八重山がおきなわについたのは、一三九 年以降のことであるが、それ以前の八重山は、大和と直接交通していたという。毎年、夏至の季節風が吹きはじめるころになると、竹どん島の神々や「とんち」たちは、いそいで大和旅に上がり、北流する黒潮の流れに北風の花がチラホラ見えはじめるころになると、大和から作物の種子や加治の資材等を満載して竹どん島に帰って来たという。

神々の舟がヤラブ岬から現れると、村人たちは島の西コンドイにおいて、これを迎える。このとき、「あ方から来る舟やわが いいぬとんちゃだ。おやけせばたばらる」と歌うのである。

積荷は浜伝いに南のこもどきの浜から小波本オガンの小城場に運ばれ、ここで八重山の島々から集まって来た神たちに分配されたという。このとき、島々の神たちが舟待ちしたところが、この「うんむい」(海森)である。

竹どん島の祖神たちは、彼等の貴重な体験から、この国境の島々に残される子孫たちが、将来素姓のことで隣りの高砂子の島に住むマライ族と混同され、迷惑を被むることあるを予見し、自分たちの出身地をはっきりと明示して代々子孫に伝えている。

一九六六年十一月二十三日建立

石垣在仲筋会

協力者 碑文 崎山 毅

碑石 幸本 亀

仲筋部落会

## 竹富島内石碑情報集成

番 号：52  
名 称：仲筋村伝統藝能継承之碑



分 類：記念碑  
建立年月日：平成11年9月吉日  
建立場所：ハニヤ丘  
材 質：本体：チャートか？  
台座：コンクリートか？ 文字版：御影石  
法 量：(石碑) 高120cm 幅155cm (最長部)  
(台座) 高101cm 幅178cm 奥103cm  
方 角：東  
設置者：仲筋村出身者一同  
銘 文：(正面)  
演目  
あぶじ狂言 種子蒔き狂言  
天人狂言 はる屋の願い  
組踊り父子忠臣 スル掬い狂言  
タナドウ屋狂言 いも堀り狂言  
たこ捕り狂言 鬼狂言  
タノリヤー 八人踊り  
シングル口 仲筋のヌベマ  
マミドー 腕棒  
(右側面)  
仲筋村出身者  
平成十一年九月吉日 建立

番 号：53  
名 称：ハニヤの由来



分 類：由来碑  
建立年月日：平成11年9月吉日  
建立場所：ハニヤ丘  
材 質：(石碑) チャートか？  
(台座) 石灰岩積みコンクリート仕上げ、  
背面上部赤瓦 文字板：御影石  
法 量：(石碑) 高130cm 幅90cm (最長部)  
(台座) 高130cm 幅124cm 奥150cm  
方 角：東  
設置者：仲筋村出身者一同  
銘 文：(正面)  
人頭税時代 毎年首里王府へ上納船を出すことになっていた。  
帆船当時は季節風を頼りに一路平安を祈願するため、  
神司を伴う航海であった。  
その大役を命じられたのが、仲筋御嶽の司登野原屋のマイチであった。  
ところが、不運にも嵐に遭い中国に漂流した中国の温情によって一命をとりとめたマイチは幸いにも帰郷することになり、その際世話して下さった方から 無事に竹富島に着いたら「貴方の家の西にある森に守護神を祀り信仰しなさい。必ずや貴方の村は繁盛するでしょう」と勧められ、印判を二つに割って互いに持ち再開を約束したと伝えられている。  
以来、仲筋村の無病息災の神として村人から信仰されている。  
平成十一年九月吉日 献納  
仲筋村出身者一同

## 竹富島内石碑情報集成

---

番 号：54  
名 称：ナージカー



分 類：標柱  
建立年月日：昭和12年9月改繕  
建立場所：仲筋井戸西  
材 質：コンクリート  
法 量：高53cm 横28cm 奥28cm (1対)  
方 角：西  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：(右) 仲すぢ井戸  
(左) 昭和十二年九月改繕

番 号：55  
名 称：八重山島造船創業始祖之碑



分 類：記念碑  
建立年月日：昭和50年代  
建立場所：仲筋集落の島仲家の庭  
材 質：帆部：ニービヌフニ？  
船部・台座：石灰岩  
法 量：(帆部) 高70cm 横30cm 奥20cm (最長部)  
(船部) 高20cm 横125cm 奥80cm (最長部)  
(台座) 高40cm 幅90cm 奥90cm  
方 角：南  
設置者：竹富島部落民一同  
備 考：  
銘 文：(正面) 八重山島造船創業始祖之碑 島仲家  
(背面) 竹富島部落民一同之建立

番 号：56  
名 称：国仲御嶽の記念物標柱



分 類：標柱  
建立年月日：不明  
建立場所：国仲御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：測定不能  
方 角：  
設置者：竹富町教育委員会  
備 考：倒壊して、半分土に埋もれた状態  
銘 文：記念物 国仲

## 竹富島内石碑情報集成

番 号：57  
名 称：竹富小中学校位置標柱



分 類：標柱  
建立年月日：昭和53年 1月23日  
建立場所：竹富小中学校内管理棟東側  
材 質：木  
法 量：高さ113cm 幅11.5cm 奥行き11.5cm  
方 角：  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：（正面）竹富小中学校位置標柱  
（右面）東経一二四度五分一 秒  
（背面）北緯二四度一九分二秒  
（左面）海拔一八米  
設置年月日  
昭和五十三年一月二十三日

番 号：58  
名 称：與那国清介翁八十八歳之胸像



(正面下部)



(胸像)

分 類：顕彰碑 / 胸像  
建立年月日：昭和63年 1月 8日  
建立場所：竹富郵便局東70m  
材 質：台座・本体：石灰岩積みコンクリート固め  
文字板：御影石  
胸像：コンクリート  
法 量：（全体）高410cm 幅460cm  
（台座）1辺190cmの8角形、高さ59cm  
方 角：南  
設置者：子孫一同  
備 考：  
銘 文：（正面上部）與那国清介翁八十八歳之胸像  
略歴  
一、明治三十四年十一月二日竹富島に生れた  
二、産業文化の基盤整備に盡力した  
三、織物民芸品の振興功労者として沖縄県知事より表彰を受けた  
四、民俗芸能保持者師匠として活躍した  
五、竹富町教育委員長竹富小中学校PTA会長を長年勤め人創りに専念した  
六、竹富部落会長區長民芸館長牧野組合長等長期歴任かしくさやうつぐみどまさる精神を樹立した  
七、竹富町町会議員選挙管理委員長として活躍した  
八、内閣総理大臣より叙勲瑞宝章の榮譽に輝いた父の偉業を讃え米寿の年を心より喜び茲に胸像を建立す  
一九八八年（昭和六十三年）一月八日  
子孫一同  
（背面）  
工事施行者 株式会社 大山組  
胸像製作者 興國物産 張本商店  
揮毫家 新井文雄  
彫刻家 張本源一  
設計士 平良登 設計

## 竹富島内石碑情報集成

番 号：59  
名 称：放送台



分 類：  
建立年月日：昭和26年 8月28日  
建立場所：竹富郵便局南40m  
材 質：石灰岩石積み上げコンクリート固め  
法 量：高500cm (推定) 幅180cm 奥180cm  
方 角：南？  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：一九五一年八月二十八日竣工  
総工費 二万円  
工事担当 東壮年会  
石工 赤山真津  
長堂保久利



(背面)

番 号：60  
名 称：啓蒙台



分 類：記念碑  
建立年月日：建立：大正 8年 5月30日  
修復：昭和60年 5月12日  
建立場所：竹富郵便局南80m  
材 質：石碑：石灰岩  
台座：サンゴ丸石コンクリート固め  
文字板：白御影石？  
法 量：(石碑) 高170cm 幅50cm 奥50cm  
(台座) 高15cm 幅80cm 奥80cm  
方 角：北  
設置者：大山真津交友会  
備 考：  
銘 文：(正面)  
大正八年(巳未) 五月三十日  
啓蒙臺  
高等小学校設立記念  
(右面) 大山真津 交友会 寄奉  
(背面)  
あずま会20周年記念事業於修復  
昭和60(乙丑) 5、12

## 竹富島内石碑情報集成

番号：61  
名称：ミーナ井戸の記念物標柱



分類：標柱  
建立年月日：昭和48年2月28日  
建立場所：竹富郵便局東120m  
材質：コンクリート  
法量：高150cm 幅18cm 奥18cm  
高113cm 幅40.5cm 奥9cm  
方角：南西  
設置者：竹富町教育委員会  
備考：  
銘文：(正面) 記念物 ミーナ井戸  
(右面) 竹富町教育委員会  
(背面) 建設 昭和四八年二月二八日  
(左面) 指定 昭和四十七年八月三十日  
(正面) ミーナ井戸  
ここを下った谷間に泉がある。  
往昔島人はこの泉を飲料水として用いたと伝えられている。

番号：62  
名称：ミーナ井戸



分類：記念碑  
建立年月日：1964年8月12日  
建立場所：竹富郵便局東120m  
材質：台座：コンクリート 石碑：チャート？  
法量：(全体) 高84cm 幅80cm 奥15cm  
(石碑) 縦55cm 横43cm  
(台座) 高40cm × 幅130cm × 奥145cm  
方角：北東  
設置者：不明  
備考：青い陶製の香炉が置かれている。  
銘文：(正面) 天降りめをと井戸ミーナカ  
マリツ女神ソコツ男神  
此の岩屋に住み岩の底を掘りて  
所の清水を湧かして使用された  
これが竹富に初めての泉である  
これ以来この井戸に降りる時は  
二神への合図として小石を二個  
投下して井戸水を使用する  
習慣になっている(伝説記)  
(背面) 一九六四年八月十二日 建立  
株式会社 竹富牧場

番号：63  
名称：敬老席



分類：  
建立年月日：大正8年9月18日  
建立場所：清明御嶽敷地内  
材質：石灰岩  
法量：高70cm 幅29cm 奥21cm  
方角：南  
設置者：在郷軍人  
備考：  
銘文：(正面) 敬老席  
(右面) 在郷軍人 建設  
(左面) 大正八年  
九月十八日 竣工



竹富島内石碑情報集成

番 号：64  
名 称：蔵元跡の史跡標柱



分 類：標柱  
建立年月日：昭和42年 6月20日  
建立場所：蔵元跡側  
材 質：コンクリート  
法 量：高163cm × 幅18cm × 奥17cm  
方 角：北  
設置者：琉球政府文化財保護委員会  
備 考：  
銘 文：(正面) 史跡 蔵元跡  
(右面) 琉球政府 文化財保護委員会  
(背面) 建設 一九六七年六月二十日  
(左面) 指定 一九五九年十二月十六日

番 号：65  
名 称：蔵元発祥之地



分 類：記念碑  
建立年月日：不明  
建立場所：蔵元跡  
材 質：石碑：石灰岩 台座：コンクリート  
法 量：(石碑) 高132cm 幅25cm 奥21cm  
(台座) 高125cm 幅370cm 奥307cm  
方 角：北  
設置者：不明  
銘 文：(正面) 蔵元発祥之地  
(台座) 工事担当者  
部落会長 与那国清介  
東支会長 根原真雄  
西 " 辻 弘  
南 " 島仲長正  
左官 大山貞雄

番 号：66  
名 称：西棧橋



分 類：  
建立年月日：不明  
建立場所：西棧橋  
材 質：コンクリート  
法 量：縦45cm × 横70cm  
方 角：南  
設置者：不明  
銘 文：部落会長 與那國 (修)  
東支会長 與那國清 (介) 西支会長 野原安 (雄)  
南支会長 嘉手川恒 (一) 工事監督 竹盛佐 (賀)  
左官 大山貞 (雄)  
土木委員 大山英信 友利清徳 前野長用  
新井信勝 嘉手川清  
勢頭敏晴  
國島松 (敏)

## 竹富島内石碑情報集成

番 号：67  
名 称：竹富小学校創立90周年記念



分 類：記念碑  
建立年月日：昭和57年 6月25日  
建立場所：竹富小中学校内  
材 質：石碑：チャートか？  
プレート：御影石  
法 量：(石碑) 高150cm 幅180cm 奥90cm  
(台座) 高35cm 幅230cm 奥180cm  
方 角：南西  
設置者：不明  
銘 文：(正面) 根性  
竹富小学校創立90周年記念  
1982年 6月25日

番 号：68  
名 称：竹富小学校創立100周年記念



分 類：記念碑  
建立年月日：平成4年 6月25日  
建立場所：竹富小中学校内  
材 質：チャートか？  
法 量：(石碑) 高215cm 幅310cm 奥60cm  
(台座) 高50cm 幅80cm 奥200cm  
方 角：南  
設置者：創立百周年記念事業期成会  
銘 文：(正面) 希望 躍進 輝く 百年  
竹富小学校創立百周年記念  
(背面) 平成四年(一九九二年)六月二十五日  
寄贈 白保英行 白保台一 碑文 根本盛吉  
揮毫 西盛佳美  
建立  
創立百周年  
記念事業期成会

番 号：69  
名 称：うつぐみの像



分 類：記念碑  
建立年月日：平成11年 6月吉日  
建立場所：竹富小中学校内  
材 質：石碑：コンクリートか？ 台座：御影石  
法 量：(石碑) 高200cm 幅80cm 奥70cm  
(台座) 高50cm 幅140cm 奥140cm  
方 角：南  
設置者：不明  
銘 文：(正面上) 竹富島 東経124 北緯24  
(正面下) うつぐみの像 1999年 6月吉日  
(背面) 竹富中学校創立50周年記念

## 竹富島内石碑情報集成

---

番 号：70  
名 称：ソニー子ども科学教育プログラム11年連続入賞記念



分 類：記念碑  
建立年月日：平成22年3月31日  
建立場所：竹富小中学校内  
材 質：御影石  
法 量：(石碑) 高107cm 幅59cm 奥5.5cm  
(台座) 高10cm 幅64cm 奥37cm  
方 角：南  
設置者：ソニー教育財団  
銘 文：(正面) “?”  
(背面)  
ソニー子ども科学教育プログラム  
11年連続入賞記念  
平成19年度 努力校  
平成20年度 優秀校・特別賞  
平成21年度 努力校  
平成22年3月31日  
財団法人 ソニー教育財団

---

番 号：71  
名 称：二宮金次郎像



分 類：石像  
建立年月日：不明  
建立場所：竹富小中学校内  
材 質：御影石?  
法 量：(石碑) 高123cm 幅50cm 奥50cm  
方 角：北西  
設置者：上勢頭 (保)  
備 考：  
銘 文：

---

番 号：72  
名 称：二宮金次郎像標柱



分 類：標柱  
建立年月日：平成8年2月8日  
建立場所：竹富小中学校内  
材 質：コンクリート  
法 量：(石碑) 高60cm 幅15cm 奥13cm  
方 角：倒れており不明  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：読書で立て 二宮金次郎像  
上勢頭保氏 寄贈  
平成八年二月八日

竹富島内石碑情報集成

番 号：73  
 名 称：詩歌「潮がれ浜」



(碑面左)



(碑面右)

分 類：歌碑（顕彰碑）

建立年月日：昭和49年11月3日

建立場所：コンドイ浜北側

材 質：不明

法 量：（石碑）縦160cm 横214cm  
 （台座）横750cm × 高69cm

方 角：西

設置者：石島英文（旧姓喜友永・入里婿）の教え子達

備 考：

銘 文：（正面右）

英文は旧姓喜友名

石垣市大川に生る。

我等相寄りて師を慕い、その詩業を讃えてここに、記念の詩碑を建立する。

昭和四十九年十一月三日

詩碑建設期成会

会 長 本庄正佳

詩文揮毫 石垣当秀

意 匠 西表 信

施 工 大山貞雄

（正面左）

潮がれ浜

石島英文

潮がれ浜に唯一人別れた友を思い出す

誰がはいたか捨てわらぢ渚の水にぬれている



竹富島内石碑情報集成

番号：74  
名称：世持御嶽の鳥居



分類：鳥居  
建立年月日：昭和27年6月17日  
建立場所：世持御嶽  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：高さ357cm 柱間幅302cm 丸い基壇6cm  
方角：  
設置者：亀寿会（亀家親族一同）  
銘文：（正面）（右柱）奉（左柱）納  
（背面）（右柱）亀家親族一同  
亀ホナヒト九十二歳寿記念  
（左柱）大工 大山貞夫  
一九五二年六月十七日

番号：75  
名称：真知御嶽の鳥居



分類：鳥居  
建立年月日：昭和16年8月  
建立場所：真知御嶽入口  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：高さ最大277cm 幅最大304cm  
方角：南東  
設置者：根本家  
銘文：（正面）（右柱）奉納  
（背面）（右柱）  
一九五一年辛卯五月二日 謹立  
根本静昇 全 盛行 全 精能  
大工 大山貞夫  
（左柱）  
昭和二十三年戊子旧四月 宮道改修  
根本静昇 全 盛行 全 精能

番号：76  
名称：玻座間御嶽の鳥居



分類：鳥居  
建立年月日：昭和16年8月  
建立場所：玻座間御嶽入口  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：高さ325.5cm 柱間幅240cm  
方角：南南西  
設置者：田真家  
銘文：（正面）（右柱）奉納  
（背面）（右柱）  
田真真津 田真登 全 イサミ  
全 波子 全 小枝  
（左柱）  
大工 大山貞夫  
昭和拾六年辛巳八月 建立

竹富島内石碑情報集成

番号：77  
名称：玻座間御嶽の燈籠（一对）



左

右

分類：燈籠  
建立年月日：昭和52年4月18日  
建立場所：玻座間御嶽入口  
材質：セメント  
法量：高さ最大190cm 幅最大63cm  
奥行き最大63cm  
方角：南南西  
設置者：田真登  
備考：  
銘文：(右) (正面)  
外れた痕跡あり、恐らく「奉納」があったろう  
(背面) 大工大山貞雄  
昭和五十二年四月十八日 竣工  
田真登  
左右 (左) (正面) 奉納

番号：78  
名称：玻座間御嶽の手洗台



分類：手水  
建立年月日：昭和55年6月28日  
建立場所：玻座間御嶽鳥居後ろ  
材質：セメント  
法量：高さ約88.5cm 幅115.8cm 奥行き71cm  
方角：南東  
設置者：田真登  
銘文：(正面) 奉納  
(背面) 田真登  
昭和五十五年六月廿八日 建立

番号：79  
名称：西塘御嶽の鳥居



分類：鳥居  
建立年月日：昭和13年11月23日  
建立場所：西塘御嶽入口  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：高さ301cm 幅345cm 奥行き30cm  
方角：南南西  
設置者：國島家  
銘文：(正面)  
(右柱) 出征記念 國島嘉皓  
(左柱) 奉納 國島一二  
昭和十三年戊寅十一月二十三日 謹立  
(背面) (右柱) 大工 平得永利

## 竹富島内石碑情報集成

---

番号：80  
名称：西塘御嶽内の燈籠「奉納」(一対)



分類：灯籠  
建立年月日：不明  
建立場所：西塘御嶽内  
材質：火成岩  
法量：高さ301cm 幅345cm 奥行30cm  
方角：南南西  
設置者：不明  
備考：  
銘文：(正面) 奉納

番号：81  
名称：親泊御嶽の鳥居



分類：鳥居  
建立年月日：平成7年12月  
建立場所：島の北側ミシャシ海岸沿い  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：柱径35cm 柱間300cm 高さ約290cm  
方角：北  
設置者：前浜敏  
備考：  
銘文：(背面)  
(右) 寄贈 前浜敏  
(左) 奉納 平成七年十二月吉日

番号：82  
名称：美崎御嶽の鳥居



分類：鳥居  
建立年月日：平成7年12月  
建立場所：島の北側ミシャシ海岸沿い  
材質：鉄筋コンクリート  
法量：柱径35cm 柱間290cm 高さ約290cm  
方角：北東  
設置者：竹富エビ養殖株式会社  
南西観光株式会社社長 上勢頭保  
備考：  
銘文：(背面)  
(右) 寄贈 竹富エビ養殖株式会社  
南西観光株式会社 社長 上勢頭保  
(左) 奉納 平成七年十二月吉日

竹富島内石碑情報集成

番 号：83  
名 称：国仲御嶽の鳥居



分 類：鳥居  
建立年月日：昭和32年11月24日  
建立場所：国仲御嶽  
材 質：鉄筋コンクリート  
法 量：高345cm 幅330cm 奥30cm  
方 角：南  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：(正面) ナシ  
          (背面) (右柱) 西塘四七 年記念  
                  部落会長 與那國清介 東支会長 根原真雄  
                  西支会長 辻 弘 南支会長 島仲長正  
                  (左柱) 一九五七年十一月二十四日  
                  左 官 大山 貞雄 信仰会長 上勢頭亨

番 号：84  
名 称：清明御嶽の灯籠



分 類：灯籠  
建立年月日：不明  
建立場所：清明御嶽鳥居横  
材 質：鉄筋コンクリート  
法 量：高170cm 幅64cm 奥64cm (最長部)  
方 角：南  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：(右) (正面) 奉納  
          (左) (正面) 奉納

番 号：85  
名 称：清明御嶽の鳥居



分 類：鳥居  
建立年月日：昭和32年11月24日  
建立場所：清明御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：高340cm 幅320cm 奥30cm  
方 角：南  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：



## 竹富島内石碑情報集成

番 号：86  
名 称：仲筋御嶽の鳥居



分 類：鳥居  
建立年月日：不明  
建立場所：仲筋御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：高280cm 幅260cm 奥23cm  
方 角：東  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：

番 号：87  
名 称：幸本御嶽の鳥居



分 類：鳥居  
建立年月日：不明  
建立場所：幸本御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：高300cm 幅290cm 奥30cm  
方 角：東  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：

番 号：88  
名 称：久間原御嶽の鳥居



分 類：鳥居  
建立年月日：不明  
建立場所：久間原御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：高260cm 幅250cm 奥23cm  
方 角：南  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：



## 竹富島内石碑情報集成

---

番 号：89  
名 称：花城御嶽の鳥居



分 類：鳥居  
建立年月日：昭和26年5月20日  
建立場所：花城御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：高275cm 幅260cm 奥25cm  
方 角：南  
設置者：氏子一同  
備 考：  
銘 文：(正面)(右柱) ナシ (左柱) 奉納  
(背面)  
(右柱) 一九五一年五月二十日 建設  
大工 大山貞雄  
(左柱) 氏子一同

番 号：90  
名 称：波利若御嶽の鳥居 (新)



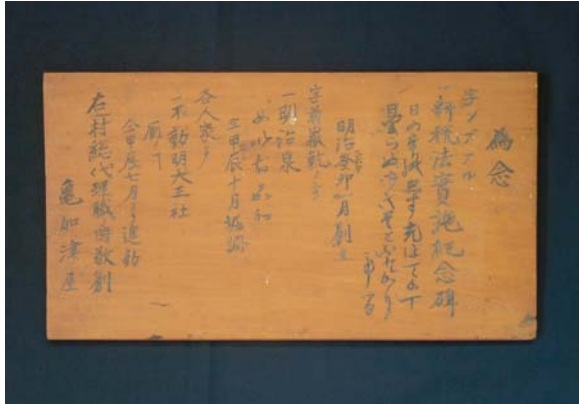
分 類：鳥居  
建立年月日：不明  
建立場所：波利若御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：高335cm 幅325cm 奥30cm  
方 角：北  
設置者：不明  
備 考：  
銘 文：

番 号：91  
名 称：波利若御嶽の鳥居 (古)



分 類：鳥居  
建立年月日：昭和26年6月5日  
建立場所：波利若御嶽  
材 質：コンクリート  
法 量：高280cm 幅270cm 奥25cm  
方 角：西  
設置者：野原亀 大山真知 内盛加名 (那) 大山泰正  
備 考：  
銘 文：(正面)(右柱) ナシ (左柱) 奉納  
(背面)  
(右柱) 一九五一年六月五日 建設  
大工 大山貞雄  
(左柱) 寄贈  
野原亀 内盛加名 (那) 大山真知 大山泰正

番号：19  
 名称：新税法實施記念碑（亡失）



分類：記念碑  
 建立年月日：明治36年 1月  
 建立場所：ンブフル  
 材質：不明  
 法量：不明  
 方角：不明  
 設置者：（記録）亀加津屋  
 備考：碑は現在は亡失しているが、記録は喜宝院蒐集館に保管されている板に「為念」と記されている。

記録板の寸法

（縦左側20.7cm・縦右側20.4cm×横上部38.1cm・横下部37.8cm、厚さ0.5～0.9cm）

明治36年にンブフルの歌碑を設置、明治42年に記録追加

上部に穴が2カ所あいている。（掛けられていた？）

亀加津屋（かめ・かつや）の亀家 現在は亀井家になっている

銘文：（表）為念

字ンブフル

— 新税法實施記念碑  
 日本御照す先はてか下  
 曇らぬ御代そとふれかり  
 事間

（三六年）

明治癸卯一月創立

字前嶽乾ノ方

— 明治泉

め以

全甲辰十月堀調

各人家二テ

— 不動明大王社

厠ノ

全甲辰七月ヨリ進勤

右村総代理職ノ時敬創

亀加津屋

（裏）

追為念

字玻座真西村方

— 初味泉

はつ 嘉和

字玻座真西海岸方

— 四方用泉

ゆ ち嘉和

右貳点明治四拾參年老月堀調

字玻座真西海岸方

— 宗祖御墓建築

右明治四拾貳年拾月八日落成